

参考様式第2号 (表)

整理番号 3

## 調査研究活動記録票

会派名 裕輝会

活動名	東京都 宮城県 行政視察		使途 項目	調査研究費
日程	令和 5年 2月 7日 (火) ~ 令和 5年 2月 9日 (木)			
場所等	東京都武蔵野市 ・武蔵野プレイス 宮城県大崎市 ・YKKAP 東北製造所 ・大崎市民病院 ・大崎市新庁舎 ・あ・ら伊達な道の駅			
参加議員 人数・氏名	1人	中村裕一		
目的・ 内容・ 成果	目的 別紙 報告書			
	内容 別紙 報告書			
	成果 別紙 報告			

経費内訳

単位：円

整理 番号	月日	支出内容	金額
3	2月7日~9日	【交通費】【宿泊代】(株) YKK ツーリスト	57,650
	合計		57,650

日 時：令和5年2月7日（火）午後1時30分～3時30分

視察先：武蔵野プレイス

参加者：中村裕一

応接者：平之内 智生（公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団：常務理事）

目 的：複合施設見学（図書館・生涯学習支援・市民活動支援・青少年活動支援）

概 要：

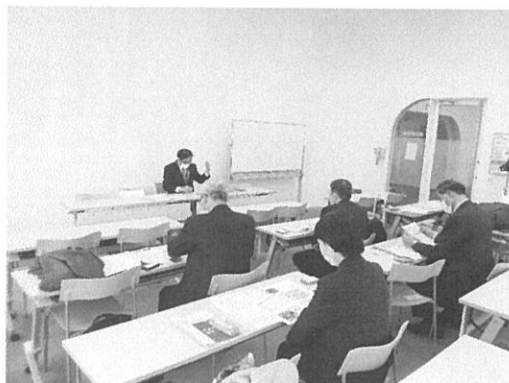
「武蔵野プレイス」は、図書館、生涯学習センター、市民活動センター、青少年センターなどといったこれまでの公共施設の類型を超えて、複数の機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、人とひとが出会い、それぞれが持っている情報（知識や経験）を共有・交換しながら、知的な創造や交流を生み出し、地域社会（まち）の活性化を深められるような活動支援型の公共施設である。当施設は、人々の交流が自然に生み出される質の高い「場」を提供し続けることによって、生活、文化、芸術、自然、歴史、まちづくり、ボランティア活動、市民活動、生涯学習、福祉、教育といった横断的な活動や交流のネットワークの活性化を促し、多様な人々がそれぞれの活動を通して時間を共有する快適な空間（場）は、地域社会の魅力を高めることに寄与している。又3つのミッション「情報アクセス支援」「課題学習支援」「地域社会活性化支援」を軸に市民に寄り添う・集う・交流できる施設として市内に於いて溶け込んでいる

基本データ（武蔵野市：147,643人（10.98km<sup>2</sup>））

（武蔵野プレイス）

敷地面積：2,166m<sup>2</sup> 延床面積：9,809m<sup>2</sup> 地下2階地上4階 開館時間9：30～22時 職員数57.7名

蔵書数185,000冊 年間資料貸出件数943,000件 年間予約数39,000件 インターPC設置台数10台



所 感

プレイスという場の4つの機能、図書館、青少年活動支援、生涯学習支援、市民活動支援が提供できる施設で、人々の活動が自然に混じり合った新たな発見とアクティビティの創出が見事だと感じた。

## 【宮城県大崎市】

日 時：令和5年2月8日（水）

視察先：YKKAP 東北製造所

参加者：中村 裕一

対応者：東北製造所長 宮川 雅彦、 総務課長 加藤 周悟

目 的：震災を受けて復興後の取り組み状況について

## 【概 要】

操 業：昭和の49年4月（1974年）

敷地面積：745,200 m<sup>2</sup>

建物面積：延 402,500 m<sup>2</sup>

従業員数：約 1,600 名

製造商品：

<住宅建材>

住宅用断熱窓、サッシ、断熱ドア、エクステリア製品、室内ドア、  
クローゼット、樹脂窓、複層ガラス

<ビル建材>

カーテンウォール

## ○YKK 精神

「善の巡環」他人の利益を図らずして、自らの繁栄はない

## ○経営理念

「更なる CORPORATEVALUE を求めて」

お客様に喜ばれ、社会に評価され、社員が誇りと喜びを持って働ける会社でありたいと考えている。

## ○コアバリュー

- ・絶えざる「挑戦」を通じた人づくり
- ・顧客にとって価値ある「品質」を実現するモノづくり
- ・「信用・信頼」が結ぶ社会との長期にわたる強化関係づくり

## ○日本で、世界で広がる YKKAP のモノづくり

- ・国内拠点：198 拠点
- ・海外展開：10 カ国/地域
- ・国内製造拠点：24 拠点
- ・海外主要製造拠点：8 拠点
- ・国内従業員数：12,311 人
- ・海外従業員数：4,010 人



### 【所 感】

YKKAP は、一貫生産体制を構築し、高品質を実現している。最適な材料、あらゆる構成部材、製造設備まで自社で開発・生産している。「善の巡環」の精神に基づく経営理念、「社員が誇りと喜びを持って働く会社」、事業の発展があつてこそ社会貢献ができる。とても大切な精神と感じた。

**【宮城県大崎市】**

日 時：令和5年2月8日（水）午後3時～4時30分

参加者：中村裕一

視察先：大崎市民病院

応接者：事業管理者 並木 健二、 病院長 今泉 秀樹、 副管理者 八木 文孝  
経営管理部長 中田 健一

目 的：病院事業の取り組みについて

**【概 要】****病院理念**

～市民が安心できる医療の提供～

**○市民病院の役割**

・大崎・栗原医療圏における高度急性期・急性期医療を中心とした役割を担う

主な指定：地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院（高度型）、三次救急医療、地域周産期母子医療センター

**○分院・診療所の役割**

・鳴子温泉分院、岩出山分院、鹿島台分院、田尻診療所、健康管理センター

回復期・慢性期医療を中心として、地域の「かかりつけ医」機能を担い、在宅医療における急変患者の入院が必要となる場合の病床を確保する。

**○市民病院の主な取り組み****・令和2年度の取り組み**

- ①第2期大崎市民病院事業病院ビジョン策定
- ②本院 認知症センター・アカデミックセンター設置

**・令和3年度の取り組み**

- ①分院・診療所でICTを活用したMCS利用開始
- ②新鳴子温泉分院完成

**・令和4年度の取り組み**

- ①本院 経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）開始  
手術支援ロボット「ダヴィンチ」運用開始
- ②分院 一般病床をすべて地域包括ケア病床に転換（全120床）



屋上ヘリポートにて



大崎市民病院 会議室

### 【所 感】

市民に適切な医療の提供、地域に貢献する医療の構築、健全経営の確保を基本方針とし取り組んでいる。規模が大きく来院数も多く混雑（待ち時間の解消）を避けるために自動精算機が4台設置されている。黒部市民病院にも自動精算機を設置すべきと感じた。

【宮城県大崎市】

日 時：令和5年2月9日（木曜日）午前9：00～午前10：00

場 所：大崎市役所 新庁舎

参加者：中村裕一

対応者：副市長 尾松 智、 事務局主幹兼係長 児玉 一亘、 主幹 川名 香葉

目 的：基本方針に基づく施設概要が市民目線であるかを学ぶ

概 要：

《設計方針》「市民の誇り」「安全安心」「賑わいと情報発信」「豊かな資源」をつなぐ『大崎モデル』を実現する循環型庁舎

《基本方針》①みんなが利用しやすく、親しみのある庁舎

②災害に強く、情報・交流拠点としての庁舎

③環境へ配慮し、管理コストを配慮した庁舎

《工事概要》構造：鉄骨造、建築面積：約3,563㎡、延床面積：12,084㎡

階数：地上5階建（高さ25.6m）、構造形式：耐震構造

再生可能エネルギー：太陽光（発電）、地中熱（空調）

非常用発電：ディーゼルエンジン発電機（750kVA）72時間稼働

雨水対策：地下式貯留槽設置、駐車場台数：普通車約120台、自転車30台



【所 感】

災害からの教訓を生かし、再生可能エネルギーや非常用発電、雨水対策が活用されており、また、災害対策本部室は、特別職の執務室と同じフロアとし、災害時の迅速・確実な指令系統を確立している。防災機能を集約することで有事の際、迅速に対応できる仕組みが構築されおり参考になった。

## 【宮城県大崎市 岩出山地域】

日 時：令和5年2月9日（木曜日）午前10：30～午前11：00

視察先：あ・ら伊達な道の駅

参加者：中村 裕一

対応者：代表取締役 佐々木 純

目 的：施設運営の取り組みについて学ぶ

### 【経 緯】

正式名称は「大崎市あ・ら・伊達な道の駅地域振興施設」であり、土地・建物を大崎市が所有し、第三セクターの株式会社池月道の駅が指定管理者として2006年（平成18年）3月30日から管理運営を委託されている。2006年（平成18年）3月31日の1市6町の新設合併で大崎市が誕生する前は岩出山町の施設であり、かつて同町の岩出山城を居城とした伊達政宗やその後の岩出山伊達氏の歴史から「伊達」の名が駅名に付けられており、施設の正面入口上部には仙台城にある伊達政宗騎馬像の絵が掲げられている。

全国道の駅グランプリ2020－2021では満足度の高い道の駅ナンバー1を獲得されると共に、平成30年には368万人の来客数を記録しコロナ禍を除き、年々来客数が増加を続けている施設である。北海道当別町と旧岩出山町が姉妹都市であることが縁で常設されているロイズについても、注目度の高い施設であり来客数増加と共に売り上げ増加の一役を担っている。

### 【事業目的】

あ・ら伊達な道の駅を運営する株式会社池月道の駅では、これまで「お客様の満足度が売り上げアップにつながる」という方針のもと、「お客様視点」「損して得とれ」「トイレ・店舗・駐車場の徹底清掃」に注力して来られました。現在は、上記に加え「次なるステージへの挑戦」と題して、「これまでの機能のほかに具備しなければならない機能」「賑わい向上と雇用創出のための事業拡大」を掲げ、地域振興に向けた機能の充実化や防災拠点としての機能に加え、外国人観光客にも対応した機能の充実化を目指しています。また、時代の進化に対応した施設再構築や新たな観光資源の構築など常に向上心を持ち事業に取り組んでおられます。

### 【事業内容】

- ・五福の伊達ちゃん kitchen 地元野菜や正宗公が好んだ食材を使用した食事処
- ・あ・ら・ら横丁 岩出山・鳴子温泉などの地元物産販売
- ・ROYCE' 北海道内に直営展開しているロイズコンフェクト
- ・スパイラルホール 道路情報確認・休憩スペース
- ・風夢（ふむ） 地元の方々の手作り作品販売・クリーニング店



- ・農産物直売所 200名を超える生産者のとれたて野菜販売所
- ・米工房いわでやま 精米したての岩出山産の米販売
- ・伊達ちゃんベーカリー 地元食材を使用した菓子パン・総菜パン販売所
- ・屋外店舗 施設でしか食せない飲食販売店舗



### 【所感】

お客様の満足度が売り上げアップにつながる理念のもと、集客数を延ばすための様々なイベント開催、ロイズとの提携販売、新鮮な野菜の豊富さ、目玉商品など、試行錯誤して取り組んでいることで売り上げにつながっていると感じた。